

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【男子バスケットボール部】

男子バスケットボール部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
落合 直也	山岡 正輝	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・部活動を通して人間関係や自治的な力を培う。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的な練習メニューを計画する。
- ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・アリーナの窓・ドアを開放し、常に空気の入替えを行う。
- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室を使い更衣を行わせる
- ・WBGTの計測を行う。

イ 活動中の留意事項

- ・プレー以外での不必要な密着・会話は避ける。
- ・休養時に1～2mの距離を保つ。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・換気を一定時間行う。
- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・アリーナのドアノブ等の消毒を行う。
- ・部員の手洗いを行わせる。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・自宅で検温をし、体調確認をする。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・相手校選手との会話は最低限にとどめる。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【女子バスケットボール部】

女子バレーボール部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
小村 英樹	山岡 正輝	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・部活動を通して人間関係や自治的な力を培う。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的な練習メニューを計画する。
- ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・アリーナの窓・ドアを開放し、常に空気の入替えを行う。
- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室を使い更衣を行わせる
- ・WBGTの計測を行う。

イ 活動中の留意事項

- ・プレー以外での不必要な密着・声かけは避ける。
- ・休養時に1～2mの距離を保つ。
- ・冷水機は極力使用しない

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・換気を一定時間行う。
- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・ボールの消毒を行う。
- ・アリーナのドアノブ等の消毒を行う。
- ・部員の手洗いを行わせる。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・自宅で検温をし、体調確認をする。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・相手校選手との接触・会話は最低限にとどめる。
- ・試合開始や終了の握手は行わない。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【男子バレーボール部】

男子バレーボール部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
岩本 岳朗	なし	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・部活動を通して人間関係や自治的な力を培う。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的な練習メニューを計画する。
- ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・アリーナの窓・ドアを開放し、常に空気の入替えを行う。
- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室を使い更衣を行わせる
- ・WBGTの計測を行う。

イ 活動中の留意事項

- ・プレー以外での不必要な密着・会話は避ける。
- ・休養時に1～2mの距離を保つ。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・換気を一定時間行う。
- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・ボールの消毒を行う。
- ・アリーナのドアノブ等の消毒を行う。
- ・部員の手洗いを行わせる。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・自宅で検温をし、体調確認をする。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・相手校選手との接触・会話は最低限にとどめる。
- ・試合開始や終了の握手は行わない。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【女子バレーボール部】

女子バレーボール部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
末松 亜規	なし	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・バレーボールの技術的な向上と自らを鍛え高めていこうとする精神を養う。
- ・「何ごとにも、一生懸命に取り組む生徒」を目指し、クラスや学年で他者と協力する気持ちを持ち、学習や行事に対しても頑張るバレーボール部の一員として活動する。
- ・上達することや困難を乗り越えることの喜びや達成感を味わい、中学校生活3年間で充実させる。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガを防止するため、段階的に練習を計画する。(週2回1時間程度)
- ・熱中症対策として1時間に1回の休憩と30分置きに水分補給を行う。また、のどが渴いたと感じる前に、各自自由に水分補給を行える環境を整える。
- ・マスク着用してでも行えるよう、窓の開閉と大型扇風機使用して換気を行う。

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項 (部屋・更衣室対策を含む)

- ・窓とドアの開閉と大型扇風機をしようして、空気の循環を行う。
- ・更衣室が密な状態にならないよう、人数を制限して更衣を行わせる。
- ・WBGTの計測を行うが、生徒の状態を確認しながら運動を行う環境を作る。

イ 活動中の留意事項

- ・密集状態での指示出しをしない。チーム練習を行うときは、間隔をあけて行う。
- ・休養時に1～2mの距離を保つ。
- ・水分補給のためのジャグを用意する。各自の水筒に補充するように指示を出す。

ウ 活動後の留意事項 (部屋・更衣室対策を含む)

- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・器具の消毒を行う。
- ・アリーナの消毒を行う。
- ・部員に手洗いを行わせる。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・継続的に検温を行わせる。体調不良時は、欠席を促す。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・手洗いをこまめに行わせる。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【男子テニス部】

男子テニス部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
定久 拓央	秋山 哲男	松岡 憲彦

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・部活動を通して人間関係や自治的な力を培う。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的な練習メニューを計画する。
- ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底。

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室を使い更衣を行わせる
- ・WBGTの計測を行う。

イ 活動中の留意事項

- ・プレー以外での不必要な密着・声かけは避ける。
- ・休養時に1～2mの距離を保つ。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・部員の手洗いを行わせる。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・自宅で検温をし、体調確認をする。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・相手校選手との接触・会話は最低限にとどめる。
- ・試合開始や終了の握手は行わない。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【女子テニス部】

女子テニス部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
秋山 哲男	定久 拓央	松岡 憲彦

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・部活動を通して人間関係や自治的な力を培う。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的な練習メニューを計画する。
- ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底。
- ・週2日（火・金） 17:00まで活動する

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室を使い更衣を行わせる
- ・WBGTの計測を行う。

イ 活動中の留意事項

- ・プレー以外での不必要な密着・声かけは避ける。
- ・休養時に1～2mの距離を保つ。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・部員の手洗いを行わせる。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・自宅で検温をし、体調確認をする。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・相手校選手との接触・会話は最低限にとどめる。
- ・試合開始や終了の握手は行わない。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【野球部】

野球部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
若林史明	眞井翔太郎	鵜殿ことみ

- 1 今年度の部活動の目標及び運営方針
 - ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、バランスのとれた心身の成長と学校生活の充実を図る。
 - ・部活動を通して豊かな人間関係を培う。

- 2 再開までの期間における計画策定
 - (1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項
 - ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的な練習メニューを計画する。
 - ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底（20分に1回の休憩を実施）。

 - (2) 部活動を再開する際の感染防止対策
 - ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）
 - ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室（小ホール等の広い場所）を使い更衣を行わせる
 - ・WBGTの計測を行う。

 - イ 活動中の留意事項
 - ・不必要な密着・声かけは避ける。
 - ・休養時に1～2mの距離を保つ。

 - ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）
 - ・更衣の人数と時間を分ける。
 - ・部員の手洗い・うがい・アルコール消毒を行う。
 - ・ミーティングでの密集をさける。
 - ・道具の消毒を行う。

 - エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項
 - ・自宅で検温をし、体調確認をする。
 - ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
 - ・相手校選手との接触・会話は最低限にとどめる。
 - ・ハイタッチ等の接触を避ける。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【水泳部】

水泳部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
佐藤 龍児	櫻井 高幸	高橋 寛

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、バランスのとれた心身の成長と学校生活の充実を図る。
- ・部活動を通して豊かな人間関係を培う。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的な練習メニューを計画する。
- ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。
- ・三密を避け、手洗いとアルコール消毒を行う。

イ 活動中の留意事項

- ・密接な会話を避ける。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・手すりやドアノブの消毒を行う。
- ・部員の手洗いとアルコール消毒を行う。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・自宅で検温をし、体調確認をする。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・相手校選手との接触や会話は最低限にとどめる。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【バドミントン部】

バドミントン部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
中居光仁	遠藤貴裕	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒の安全を大切にし、生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動の実施。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・前回の活動期間からかなりの日数が経っているため、怪我の防止にも十分留意する。
(ストレッチや柔軟の時間を多めにとる)
- ・気温が高い日が続いているため、熱中症に気を付ける。
(こまめな水分補給、換気に留意する)
- ・部活動は多くて20人程度の参加とし、参加は生徒・各家庭の意向を尊重する。

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項 (部屋・更衣室対策を含む)

- ・朝の検温、手洗い。咳エチケット、うがいの実施など、感染防止対策を徹底する。
- ・ドアや窓を開け、普段以上の換気を行う。
- ・体調がよくない場合は参加を見合わせる。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合は参加を見合わせる。

イ 活動中の留意事項

- ・タオル、コップ等は共用しない。
- ・接近したミーティングを避ける。
- ・準備運動などは一人で行う。
- ・マスク着用が可能なメニューなら、マスクを着用させる。
- ・大きい声で会話、掛け声等はしない。

ウ 活動後の留意事項 (部屋・更衣室対策を含む)

- ・更衣室内での密集を避けるため、学年毎に更衣を行う。
- ・生徒が触れる場所や器具を清掃、消毒する。
- ・練習後に手洗いを行う。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・過去2週間、平熱が続いていることを条件として練習試合などに参加できる。
- ・参加人数を必要最低限にする。(5人以下)

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【ラグビー部】

ラグビー部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
津田 孝	松木 彰吾	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・活動を通じて、肉体的・精神的な成長を促す
- ・一つの目標に向かって、集団で努力し協力しあう仲間をつくる

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・運動不足による体力の低下を考慮した練習メニュー
- ・気温に対する対応力の低下を考慮した練習メニュー
- ・長期間練習をしていないことによるスキルの低下を考慮した練習メニュー

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣室の分散
- ・全員手洗いを行ってから練習開始
- ・ウォーミングアップは個人で行う。

イ 活動中の留意事項

- ・当分の間、コンタクト練習を実施しない。
- ・スクイズボトルの共有をしない。
- ・ボールを個人管理とし、共有しない。
- ・日本ラグビー協会の指針と合わせる。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・クールダウンは個人で行う。
- ・ミーティングを広がって行う。
- ・練習後全員の手洗い
- ・更衣は行わず、練習着のまま下校する。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・試合前に会場で検温の実施
- ・保護者の応援を不可とする。または、来校状況を把握する。

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【エイサー部】

女子テニス部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
松岡 憲彦	なし	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・生徒が踊りを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにすること。
- ・部活動を通して人間関係や自治的な力を培う。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体力低下に伴うケガの防止のため段階的に練習する。
- ・熱中症対策に休養と水分補給の徹底。

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室を使い更衣を行わせる
- ・WBGT の計測を行う。

イ 活動中の留意事項

- ・演舞以外での不必要な密着・声かけは避ける。
- ・休養時に 1～2 m の距離を保つ。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・部員の手洗いを行わせる。

エ 今後対外的なイベントへの参加が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・自宅で検温をし、体調確認をする。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避ける。
- ・回りの人たちとの接触・会話は最低限にとどめる。
〈飲み物、食べ物を共有しない。〉

町田市立鶴川中学校 部活動再開計画【剣道部】

剣道部顧問名		
主顧問	副顧問	副顧問
郷野健二	なし	

1 今年度の部活動の目標及び運営方針

- ・剣道で学んだことを実際の生活に活かす。
- ・剣道の稽古を通して心身を鍛え、健康的な生活を送る。

2 再開までの期間における計画策定

(1) 休業中の生徒の生活状況から考えられる配慮事項

- ・体調に配慮し、負荷の軽い運動から始める。
- ・熱中症対策のため水分補給を十分に行う。
- ・体力が低下しているため練習の合間に休息を十分にする。
- ・剣道具、竹刀、道着、袴の消毒等の整備をする。

(2) 部活動を再開する際の感染防止対策

ア 活動前の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・全日本剣道連盟の医科学委員会の方針や指示に従い、剣道具をつけての対人稽古では、面の下に面マスクと口元と目を覆うシールドを着用する。
- ・手すりや入口の扉を消毒する。
- ・37.5以上の発熱をしている生徒を活動させない。
- ・格技室の窓・ドアを開放し、常に空気の入替えを行う。
- ・更衣室に大人数を収容しないように人数を分けて使用する。又は教室を使い更衣を行わせる。

イ 活動中の留意事項

- ・稽古以外での不必要な密着・声かけは避ける。
- ・鏝迫り合いは避けて、稽古を行う。
- ・剣道具をつけない稽古（素振りや形稽古）ではコロナウイルスが沈静化するまで対面で行わないようにする。
- ・休養時に1～2mの距離を保つ。

ウ 活動後の留意事項（部屋・更衣室対策を含む）

- ・換気を一定時間行う。
- ・更衣の人数と時間を分ける。
- ・格技室や格技室内の倉庫の戸の消毒を行う。
- ・部員のうがい、手洗いを行わせる。

エ 今後対外的な練習試合等が実施できる段階になった場合の留意事項

- ・熱中症に注意し、換気、休息と水分補給を十分に行う。
- ・移動中はマスク着用とし、不必要な会話は避け、相手校選手との接触・会話は最低限にとどめる。